

所属 人間生活学部 保育学科		職名 准教授	氏名 青 木 直 子	
学位 博士(心理学)(名古屋大学)	特記すべき資格	大学院における研究指導担当資格 無		
I 教育活動				
主な担当科目 <学 部> 発達心理学, 教育心理学, 心理学調査法, 保育内容(言葉)				
教育実践上の主な業績		年月日	概 要	
1. 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)				
1) 掲示板を活用した研究法・授業内容の紹介		2007年4月～現在	研究室前の掲示板を利用し、心理学の研究手法や授業内容の紹介するプリントを作成・掲示している。2007～2010年度は総合演習で取り組んだ内容を紹介した。2011年度からは卒業研究を取り上げ、時期ごとに取り組む作業内容の説明や卒論生の様子などを紹介している。	
2) 記憶に関する実験		2009年11月～現在	教育心理学 I において、人間の記憶の特徴について理解を深めるためのパワーポイントを用いた実験を行った。実験は、スクリーンに数秒間提示された数字や単語を記憶し、その後、記憶した内容について再生し、短期記憶で記憶できる容量の限界や記憶を再生する際に体制化が起こることなどを確認するというものであった。	
2. 作成した教科書, 教材				
1) 新・保育実践を支える保育の心理学 I		2018年4月	11章「児童期の発達の特徴」を担当した。保育者を目指す学生が児童期以降の発達について学ぶ意義や、児童期の知的側面・社会的側面・パーソナリティの発達、幼稚園・保育所から小学校への移行する際の問題や幼・保・小の連携についてまとめた。	
3. 教育方法・教育実践に関する発表, 講演等				
4. その他教育活動上特記すべき事項				
II 研究活動				
研究分野: 教育心理学		研究キーワード: フィードバック・動機づけ		
研究課題: フィードバックと動機づけの関連				
研究内容: ほめられたことによって生じる動機づけの変化について、幼児や児童を対象とした調査を行っている。最近、ほめられる以前の文脈に注目した調査や、ほめられる側である子どもとほめる側である保育者や小学校教師の「ほめ」に対する認識のずれに関する調査を行っている。				
科学研究費及びその他外部資金の獲得状況:				
1. 科学研究費 若手研究(B) 「動機づけが高まる「ほめ」に対する子どもと教師の認識の比較」(研究代表者)2015年4月1日～2017年3月31日				
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	担当頁及び編者・共著者名
(著 書)				
1. 新・保育実践を支える保育の心理学 I (再掲)	共	2018年4月	福村出版	150-161頁 編者:成田朋子, 大野木裕明, 小平英志
(学術論文)				
1. フィードバック以前の文脈がフィードバック後の動機づけに与える影響	単	2016年3月	藤女子大学人間生活学部紀要 第53号	47-64頁
2. 児童と教師の「ほめ」に対する認識—生じる感情・動機づけ・教師がほめる理由の比較	単	2018年3月	藤女子大学人間生活学部紀要 第55巻	71-84頁
3. 家事の動機づけ: 炊事に取り組む状況ごとの特徴	共	2019年3月	藤女子大学人間生活学部紀要 第56巻	33-43頁
(その他)				
1. 児童のほめられた後の状況のとりえ方—ほめられるまでの文脈が異なる場合—	単	2015年3月	日本発達心理学会第26回大会(東京大学)	
2. 児童のほめられる前後の感情反応—参加者ごとの報告内容の変化—	単	2015年8月	日本教育心理学会第57回総会(朱鷺メッセ)	271頁
3. 小学校1～3年生の教師のほめのとりえ方(大会準備委員会企画シンポジウム話題提供)	単	2015年11月	日本子育て学会第7回大会(甲南女子大学)	18-19頁

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	担当頁及び編者・共著者名
4. 勉強場面における教師からのポジティブフィードバック—小学生対象のインタビュー調査による検討—	単	2016年4月	日本発達心理学会第27回大会(北海道大学)	257頁
5. The difference in the perception of effective praise between elementary school students and teachers	単	2016年7月	The 31st International Congress of Psychology (Pacifco Yokohama)	1164頁
6. 児童の学習への動機づけを高めるほめ手—児童と教師の認知の比較—	単	2016年10月	日本教育心理学会第58回総会(かがわ国際会議場)	346頁
7. 小学校教師の認識する児童の動機づけを高める「ほめ」	単	2017年3月	日本発達心理学会第28回大会(広島国際会議場)	449頁
8. 子どもの動機づけを支える教師のほめ(自主企画シンポジウム話題提供)	単	2017年10月	日本教育心理学会第59回総会(名古屋国際会議場)	36-37頁
9. 児童と教師の認識する教師がほめる理由	単	2017年10月	日本教育心理学会第59回総会(名古屋国際会議場)	367頁
10. ほめられた際の児童の感情状態のとらえ方—児童と教師のとらえ方の比較—	単	2018年3月	日本発達心理学会第29回大会(東北大学)	450頁
11. 児童をほめる理由に基づく小学校教師の類型化	単	2018年9月	日本教育心理学会第60回総会(慶應義塾大学)	103頁
12. 子どもをほめる理由に基づく保育者の類型化	単	2019年3月	日本発達心理学会第30回大会(早稲田大学)	557頁
III 社会連携・社会貢献				
所属学会 日本発達心理学会, 日本教育心理学会, 日本心理学会, 日本保育学会				
(社会的機関の役員委嘱等) <全国> <道内> (地域的連携・貢献) (国際的連携・貢献)				
IV 学内運営活動				
倫理審査委員会副委員長				
V 学生支援に関する自己研鑽				